南薩地域振興局保健福祉環境部（加世田保健所・指宿保健所）発行

南薩地域感染症危機管理情報ネットワーク（NISE）

NISE（ナイス）：Nansatsu Infectious Diseases Surveillance of Epidemiology

2026 第46週 令和８年 11/9～11/15

【お問合せ先】　南薩地域振興局保健福祉環境部（加世田保健所）
〒897-0001　鹿児島県南さつま市加世田村原二丁目1-1
TEL：0993-53-2316 ／ FAX：0993-53-4519 ／E-mail：minami-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

加世田管内のインフルエンザ定点当たりの報告数が再び増加し、流行発生注意報の基準値を超えたため、流行発生注意報を発令します。加世田管内の小学校では、学級閉鎖も報告されています。引き続き感染対策を心掛けましょう。

指宿管内では、引き続き水痘の流行発生警報が発令中です。

1. 定点報告疾患の発生状況

疾患名	警報 開始基準値	警報 終息基準値	注意報 基準値	対象	41週	42週	43週	44週	45週	46週
急性呼吸器感染症(ARI)	—	—	—	加世田	46.00	44.00	42.50	36.00	38.00	51.00
				指宿	38.00	54.50	55.50	39.00	45.00	48.00
				県	63.89	51.33	58.49	59.68	57.39	
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	加世田	18.50	2.50	6.50	2.00	5.50	15.00↗
				指宿	2.00	6.00	10.50	9.50	7.50	4.50↘
				県	11.96	9.47	11.74	14.04	12.25	11.26
COVID-19	—	—	—	加世田	3.00	–	–	1.50	–	0.50
				指宿	0.50	–	0.50	–	–	–
				県	0.68	0.26	0.25	0.39	0.26	0.32
RSウイルス感染症	—	—	—	加世田	1.00	1.00	3.00	–	–	1.00
				指宿	–	–	–	–	–	–
				県	1.06	0.74	0.97	0.94	0.68	0.74
咽頭結膜熱	3.00	1.00	—	加世田	–	1.00	–	1.00	–	–
				指宿	–	–	–	–	–	–
				県	0.55	0.58	0.65	0.61	0.39	0.65
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00	4.00	—	加世田	–	–	1.00	–	–	–
				指宿	–	2.00	1.00	–	1.00	1.00
				県	1.90	1.84	1.61	1.65	1.48	2.23
感染性胃腸炎	20.00	12.00	—	加世田	7.00	10.00	9.00	6.00	4.00	2.00
				指宿	7.00	4.00	6.00	6.00	2.00	7.00
				県	4.81	4.19	5.68	4.06	3.39	3.74
水痘	2.00	1.00	1.00	加世田	–	–	–	–	–	–
				指宿	–	–	–	–	2.00	1.00
				県	0.23	0.03	0.06	0.42	0.35	0.29
手足口病	5.00	2.00	—	加世田	–	–	–	–	–	–
				指宿	1.00	2.00	3.00	–	1.00	–
				県	0.48	0.35	0.55	0.48	0.29	0.19
伝染性紅斑	2.00	1.00	—	加世田	–	–	–	–	–	–
				指宿	–	–	–	–	1.00	–
				県	0.03	–	–	0.03	0.10	–
突発性発しん	—	—	—	加世田	–	1.00	–	–	–	–
				指宿	–	1.00	1.00	–	–	–
				県	0.45	0.35	0.32	0.45	0.32	0.32
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	—	加世田	6.00	3.00	1.00	–	2.00	–
				指宿	1.00	5.00	3.00	1.00	1.00	–
				県	0.94	1.00	0.84	1.29	0.84	0.55
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00	加世田	–	–	–	–	–	–
				指宿	–	–	–	–	–	1.00
				県	–	0.06	–	–	–	0.03

※鹿児島県のARI報告数は来週報以降に反映されます。また、データは後日訂正されることがあります。

2. 警報・注意報の状況

（流行発生警報・注意報の基準値を超えた感染症）

警報発令中

加世田：なし
指宿：水痘
県：なし

注意報発令中

加世田：インフルエンザ
指宿：なし
県：インフルエンザ

3. 全数報告疾患の発生状況

（管内全ての医療機関から届出のあった一～五類感染症）

第46週（11/9～11/15）

なし

4. 南薩地域で注目すべき感染症

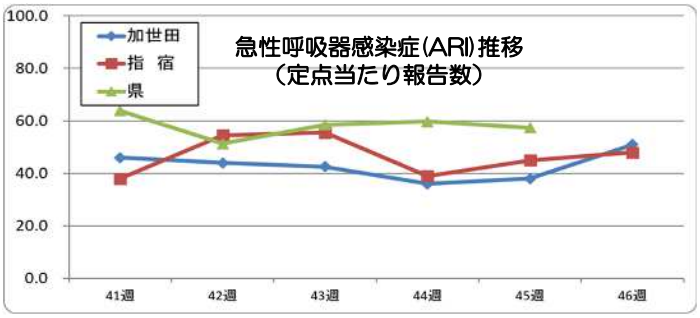
※人数は定点医からの報告です。全体の患者数ではありませんので、ご注意ください。

急性呼吸器感染症（ARI）

第46週の報告数は、加世田保健所管内で102人（定点当たり51.00）でした。

指宿保健所管内では、96人（定点当たり48.00）でした。

南薩地域内での年齢別報告数は、1～4歳（71人）、5～9歳（66人）、10～14歳（21人）の順に多く報告されています。

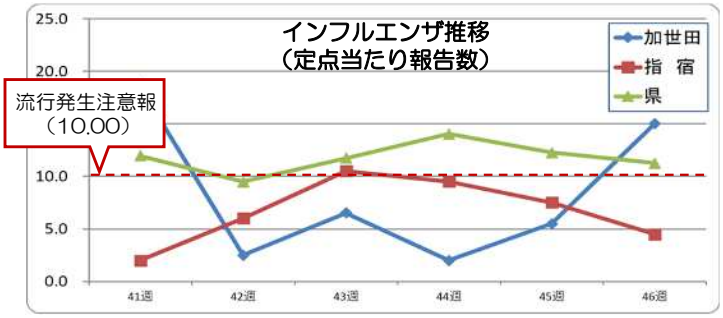


インフルエンザ

第46週の報告数は、加世田保健所管内で30人（定点当たり15.00）で、前週より19人増加しました。

指宿管内では、9人（定点当たり4.50）で、前週より6人減少しました。

県全体では、642人（定点当たり11.26）で、前週より56人減少しました。年齢別では、5～9歳（173人）、1～4歳（140人）、10～14歳（96人）の順に多く報告されています。

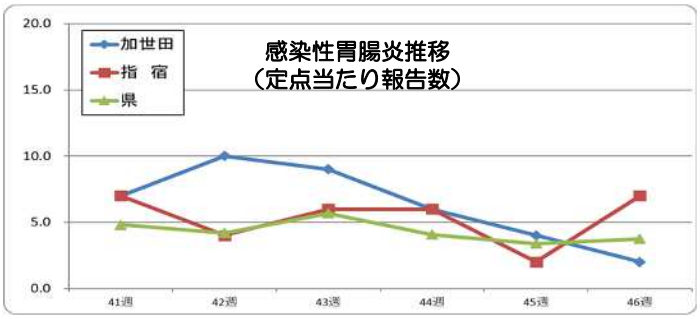


感染性胃腸炎

第46週の報告数は、加世田保健所管内で2人（定点当たり2.00）でした。

指宿管内では、7人（定点当たり7.00）でした。

県全体では、116人（定点当たり3.74）でした。



今週の話題

11月は 薬剤耐性（AMR）対策推進月間です ①

風邪を引いたからと抗菌薬（抗生物質）をもらいに病院に行っていませんか？そもそも風邪などウイルスによる感染症には抗菌薬は効きません。抗菌薬は細菌に対して効果があるものであり、不適正な使い方により、その抗菌薬が将来効かなくなることがあります。

今回は、11月の薬剤耐性対策推進月間にあわせて、薬剤耐性の仕組みと危険性、拡大防止のために私たち一人ひとりができることを2週に分けて紹介します。

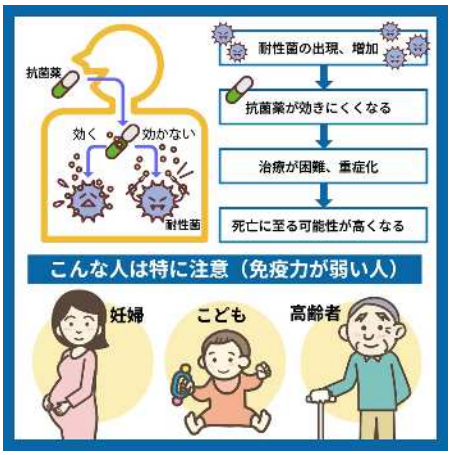
■薬剤耐性とは

細菌やウイルスなどの病原体によって引き起こされる病気のことを「感染症」といいます。感染症のうち、細菌が原因で引き起こされる病気に有効なのが「抗菌薬」です。

しかしながら、近年、従来の抗菌薬が効かない「薬剤耐性（AMR）」を持つ細菌が世界中で増えてきており、感染症の治療が困難になるケースが増加しています。耐性菌が増えると、抗菌薬が効かなくなることから、これまでは、感染、発症しても適切に治療すれば回復できた感染症が、治療が難しくなって重症化したり、さらには死亡に至る可能性が高まります。

■なぜ薬剤耐性菌が広がるの？

必要のない抗菌薬を使用したり、処方された抗菌薬を自己判断で中断したりすると、体内にいる細菌が抗菌薬に耐性を持つきっかけとなってしまったり、耐性菌が増殖しやすい環境をつくってしまうことになります。このようにして生まれた耐性菌が、自分の体内にとどまったり、周囲の人々に伝搬していくことで、薬剤耐性菌は広がっていきます。



抗菌薬が効かない「薬剤耐性（AMR）」が拡大！一人ひとりができることは？｜政府広報オンラインを加工して作成